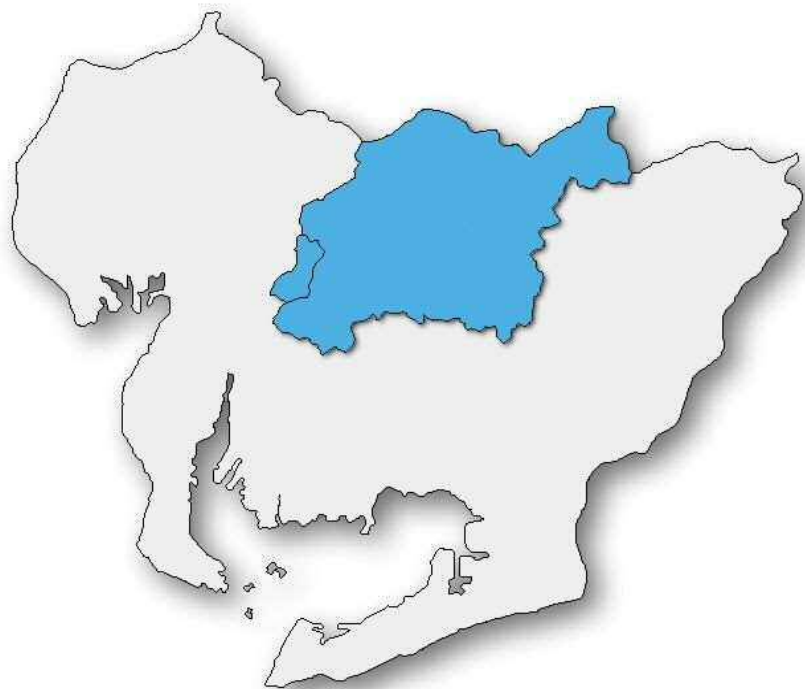


— 食と緑が支える豊かな暮らしをめざして —

# 食と緑の豊田加茂地域レポート '17

(2016年版)



平成29年7月

愛知県豊田加茂農林水産事務所



レポート中、「豊田加茂農林水産事務所の管内（豊田市、みよし市）」は「管内」としました。「農業協同組合」は「農協」としましたが、固有名称については「JA」と表記しました。

施策目標の横に記した以下の記号は、当所の担当課を表しています。

**政** 農政課   **普** 農業改良普及課   **建** 建設課   **林** 林務課   **森** 森林整備課

単位は、下記の表記としました。

「長さ」・・・メートル「m」、キロメートル「km」

「面積」・・・アール「a」、ヘクタール「ha」、  
平方メートル「m<sup>2</sup>」、平方キロメートル「km<sup>2</sup>」

「体積」・・・立方メートル「m<sup>3</sup>」

「重さ」・・・キログラム「kg」、トン「t」

---

# 目次

---

I 食と緑の地域レポート 作成の趣旨	2
II 豊田加茂地域推進プランの施策体系図	3
III 平成 28 年度の重点的な取組	
① 優良品種又は品目の導入件数	4
② 6次産業化に係る事業計画等の認定件数	5
③ 新規就農者数	6
④ 農地や農業水利施設等の整備・更新面積	7
⑤ 高性能林業機械による木材生産量	8
⑥ 新規林業就業者数	9
⑦ 林道の開設延長	10
⑧ 農林水産業に関する体験・交流会等への参加者数	11
⑨ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積	12
⑩ 農業水利施設等の整備により洪水や地震被害のリスクから守られる地域の面積	13
⑪ 地域住民等による森林の保全活動面積	14
⑫ 多面的機能支払制度を活用した農地等の保全活動面積	15
⑬ 集落ぐるみで新たな鳥獣被害防止対策が取り組まれる組織数	16
IV 重点的な取組の目標達成状況	17
< 地域トピックス >	
○ 豊田市内のホテルで「ジビエ料理試食会」が開催されました	18
○ 循環型林業技術実証 現地研修会を開催しました	19
○ JAあいち豊田桃部会が環境保全型農業推進コンクールで受賞しました	20
○ 豊田市内の小中学校で枝下用水の出前授業を実施しました	21
○ 豊田市内の小中学校で原木しいたけの菌打ち講習会を実施しました	22

---

## I 食と緑の地域レポート 作成の趣旨

---

愛知県では、平成 16 年 4 月に「食と緑が支える県民の豊かなくらしづくり条例」を施行し、県民との協働・連携に努めながら、安全で良質な農林水産物の持続的な生産と供給の確保及び森林等の多面的機能に対する県民の理解と活動の促進に関する様々な施策に取り組んできました。

また、平成 28 年 3 月には本条例の実現に向け、第 3 期の計画となる「食と緑の基本計画 2020」を策定・公表しましたが、豊田加茂地域においても地域の特色や実情を踏まえ、2020 年（平成 32 年度）までの目標とその目標達成のための取組等を明らかにした「食と緑の基本計画 2020 豊田加茂地域推進プラン」を作成し、この計画の実現に向けて各施策を総合的かつ計画的に推進しています。

この地域レポートは、計画の進行管理の一つとして、地域推進プランに掲げる施策目標の達成状況を把握し、プランの構想を実現するための今後の取組方法等について関係者の共通認識を深めるとともに、各種事業を推進するに当たって、地域の実情を踏まえた有効かつ適切な事業調整を進めるための資料として、2016 年（平成 28 年度）の対応状況を中心に取りまとめたものです。

## Ⅱ 豊田加茂地域推進プランの施策体系図

### 「食と緑が支える県民の豊かな暮らし」の実現に向けて

#### 柱1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

- (1) 幅広い需要に応える優良品種・品目の導入
  - ① 優良品種又は品目の導入件数
- (2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大
  - ② 6次産業化に係る事業計画等の認定件数
- (3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現
  - ③ 新規就農者数
  - ④ 農地や農業水利施設等の整備・更新面積
- (4) 資源を生かす林業の実現
  - ⑤ 高性能林業機械による木材生産量
  - ⑥ 新規林業就業者数
  - ⑦ 林道の開設延長

#### 柱2 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

- (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進
  - ⑧ 農林水産業に関する体験・交流会等への参加者数

#### 柱3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

- (1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保
  - ⑨ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積
  - ⑩ 農業水利施設等の整備により洪水や地震被害のリスクから守られる地域の面積
- (2) 森林・農地の有する多面的機能の発揮
  - ⑪ 地域住民等による森林の保全活動面積
  - ⑫ 多面的機能支払制度を活用した農地等の保全活動面積
- (3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり
  - ⑬ 集落ぐるみで新たな鳥獣被害防止対策が取り組まれる組織数

### Ⅲ 平成 28 年度の重点的な取組

#### 1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

##### (1) 幅広い需要に応える優良品種・品目の導入

普

##### ① 優良品種又は品目の導入件数

#### 【施策の趣旨】

消費者の多様なニーズに応え、高収量で低コスト化が期待できる優良な品種・品目を生産現場へ導入・普及するため、水稻・花き・果樹の現地栽培による実証、イチゴ、ジネンジョの優良種苗の安定供給体制整備や知的財産権取得の支援等により図ります。

#### 【具体的な取組内容】

生産者、消費者等のニーズに対応できる生産性や品質の高い水稻「中部 138 号」や花きフィカス・プミラ「月夜の光」、果樹「愛知梨 3 号」などの新品種について、生産現場への適応性を確認しました。

イチゴ、ジネンジョの優良種苗を安定供給するため、栽培及び病虫害防除技術指導に取り組みました。

生産者自らが育成した観葉植物の品種登録申請及び新品種開発に向けた技術的な支援を行いました。



フィカス・プミラ新品種「月夜の光」

#### 【取組の成果】

優良品種又は品目の導入件数：1 件

・観葉植物フィカス・プミラ

葉の斑の入り方に特徴のある新品種「月夜の光」の販売が始まりました。



下段「月夜の光」、上段 従来品種

#### 【今後の取組】

引き続き、現地実証を行うとともに、優良種苗の安定供給を支援し、優良品種又は品目の導入を図ります。

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

政 普

② 6次産業化に係る事業計画等の認定件数

【施策の趣旨】

「六次産業化・地産地消法」「農商工等連携促進法」に基づく、農林水産物を活用した事業計画の認定を目指す農林漁業者等を支援することによって、地域資源を活用した新事業の創出等を促進し、新たな需要の拡大を図ります。

【具体的な取組内容】

6次産業化を志向する農業者等へ積極的に情報提供すると同時に、補助金など県への要望を聴取しました。

また、6次産業化志向者が、新しいビジネスプランを構築するに当たって専門的なアドバイスを希望する場合に、県が事業委託している6次産業化サポートセンターを通して、中小企業診断士などの専門的な知識を持つ6次産業化プランナーを派遣するなどして、新事業の立ち上げを支援しました。

【取組の成果】

新事業計画の認定件数：3件

事業者	事業計画(新商品)
(株)中甲	小麦(イワイダイ)のかりんとう等加工品
谷澤 博	ブランド牛肉の熟成肉とその加工品
村山 保範	宇宙芋の加工品

【今後の取組】

引き続き、市や農協と連携しながら、6次産業化志向者の発掘に努め、新事業の円滑な立ち上げを支援します。



牛肉(ブランド名:ゆたか牛)



宇宙芋



### (3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

普

#### ③ 新規就農者数

##### 【施策の趣旨】

将来にわたって農産物を安定的に供給できる農業構造を実現するため、農家の後継者を始め、農業法人への雇用就農や定年帰農を含む新規就農、企業やNPOの農業参入により新しい担い手を幅広く確保し、定着させる必要があります。

##### 【具体的な取組内容】

就農相談会を3回企画開催し、19人の参加がありました。また、就農希望者27人と企業1社から就農についての個別相談が寄せられ、延べ46回対応しました。

これらの相談を通して、就農が具体化した45歳未満の6人に、栽培品目ごとの収量や販売単価等の情報を提供するなど相談を重ねて、青年等就農計画の策定を支援しました。



就農相談会

##### 【取組の成果】

新規就農者数：38人

このうち、農業改良普及課が実施した個別や集団での就農相談、就農計画策定支援等を通して、16名が就農しています。

就農形態・年齢別内訳			単位：人
就農形態	45歳未満	45歳以上 65歳未満	小計
新規学卒	1	—	1
Uターン	5	—	5
参入	26	6	32
(独立自営)	11	6	17
(雇用就農)	15	—	15
合計	32	6	38

住所別内訳	単位：人
豊田市	27
みよし市	4
管外(県内)	7
県外	—
合計	38

##### 【今後の取組】

引き続き、市や農協等と連携しながら、新規就農希望者の計画的就農を支援します。



## ④ 農地や農業水利施設等の整備・更新面積

## 【施策の趣旨】

担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を促進するため、生産性の向上を図る農地の整備を推進するとともに、将来にわたって農地の生産性を維持するため、農業水利施設などの適期、適切な整備・更新を推進します。

## 【具体的な取組内容】

経営体育成基盤整備事業中田地区では、農地の大区画化・汎用化を進めるため、農地の区画整理・用水・排水・農道等の整備工事を行いました。

畑地帯総合土地改良事業舞木乙部地区では、老朽化した農業水利施設（揚水機場・パイプライン等）の更新・整備と農道舗装を行い事業完了しました。

農地環境整備事業敷島地区では、老朽化した農業水利施設（用水路・排水路）の更新・整備と農地保全のための法面保護工等の工事を行いました。

## 【取組の成果】

農地や農業水利施設等の整備・更新面積

4.4 ha（H28 完了）

・畑地帯総合土地改良事業 舞木乙部地区

（内容） 用水路工 1.3. 1 km

揚水機場 2箇所

道路舗装工 1.0 km



舞木乙部地区(乙部揚水機場)



舞木乙部地区(農道舗装)

## 【今後の取組】

実施中の地区では、引き続き完了に向けて土地改良区や地元工区等の関係者と調整しながら事業を推進し、農業生産基盤の整備工事を行っていきます。

## (4) 資源を生かす林業の実現

森

### ⑤ 高性能林業機械による木材生産量

#### 【施策の趣旨】

木材生産の効率化に取り組み、低コストな木材生産システムを構築するため、高性能林業機械の導入を進め、木材の安定供給を推進します。

#### 【具体的な取組内容】

市町村森林整備計画に基づき、その実施計画となる森林経営計画を策定しました  
(計画策定面積：516ha)。

主伐・植栽・獣害対策を一貫して行う循環型林業技術実証事業を豊田市稲武町地内において県が委託実施（循環型林業技術実証：2.2ha）し、循環型林業技術の普及を図りました。

また、民間事業者においてモデル的に実施された循環型林業（循環型林業推進事業：9.3ha）に対して、助成を行いました。

更に、現地に適合した木材生産システムの普及を図るため、高性能林業機械を活用した低コスト木材生産現場指導を実施しました。



高性能林業機械による木材生産

#### 【取組の成果】

高性能林業機械による木材生産量

16,700 m<sup>3</sup>

#### 【今後の取組】

引き続き、豊田森林組合・民間事業者に対し、高性能林業機械を活用した低コスト木材生産システムの普及・指導を継続します。

機種名/事業者	単位:台		
	豊田森林組合	(株)緑豊	丸兼林業(有)
スイングヤーダ	4	1	1
タワーヤーダ	1		
ハーベスタ	1		
プロセッサ	4		2
フォワーダ	4		
その他		1	
計	14	2	3

高性能林業機械保有台数(H28)

⑥ 新規林業就業者数

【施策の趣旨】

本格的な利用期を迎えた森林資源を活用し、今後増加が見込まれる木材需要に対応するため、林業生産を担う人材の確保と林業技術者の育成を進めます。

【具体的な取組内容】

造林事業、あいち森と緑づくり事業等の実施による林業事業体の経営基盤強化を進めました。

森林組合等林業事業体の巡回指導（45回）や、就林相談会（2回）を開催しました。

高性能林業機械作業班の資質向上や架線集材作業者・路網作設オペレータの養成・指導（4日間）に取り組みました。



新規就林相談会

【取組の成果】

新規林業就業者数：15人

就林形態・年齢別内訳			単位：人
就林形態	45歳未満	45歳以上 65歳未満	小計
新規学卒	—	—	—
再就職	10	5	15
合計	10	5	15

住所別内訳	単位：人
豊田市	9
みよし市	—
管外(県内)	2
県外	4
合計	15

【今後の取組】

引き続き、市・森林組合・民間事業者等と連携して、新規林業就業者確保に努めるとともに、高性能林業機械作業班の資質向上や、オペレータの養成・指導を継続します。



架線系木材生産システム研修

## ⑦ 林道の開設延長

### 【施策の趣旨】

計画的で効率的な森林施業を進めるため、森林経営計画の策定を支援するとともに、木材生産に必要な基盤である林内路網等の整備を推進します。

### 【具体的な取組内容】

林内路網計画を森林経営計画に反映させ、森林整備を進めるため、林道担当、普及指導担当、市担当及び森林組合との連絡調整会議を開催しました。

また、県営事業により新規の林道開設を行うとともに、豊田市が行う開設・改良・舗装事業に対して、公共及び単独県費補助事業により支援しました。

### 【取組の成果】

林道の開設延長：984m

(内訳) 県営事業 813m

補助事業 171m



整備された林道

### 【今後の取組】

引き続き、木材生産に必要な基盤である林内路網等の整備を推進します。



舗装された林道



## 2 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

### (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

政 普 建 林 森

#### ⑧ 農林水産業に関する体験・交流会等への参加者数

#### 【施策の趣旨】

多くの県民が農林水産業の大切さを理解し、身近なものとして実感できるよう、様々な取組を推進するとともに、幅広い世代に対して体験・交流の機会を提供します。

#### 【具体的な取組内容】

小中学生向けの体験学習を11回、高校生向けの理解促進のための授業を2回、県民の理解促進のための研修会・交流会を6回、それぞれ企画・開催しました。



白菜の収穫体験

#### 【取組の成果】

農林水産業に関する体験・交流会等への

参加者数：1,039人

(内訳) 小中学生 704人

高校生 64人

一般 271人



森林に関する出前授業

#### 【今後の取組】

引き続き、理解促進につながる取組を推進し、幅広い世代に対して体験・交流の機会を提供します。



稚あゆの放流体験授業

### 3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

#### (1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

森

#### ⑨ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積

##### 【施策の趣旨】

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県土や県民の暮らしを守るため、農山村地域の防災・減災対策を推進します。

##### 【具体的な取組内容】

土砂の流出や山崩れなどの山地災害の復旧と予防を目的とし、荒廃溪流へは治山ダムを設置し、山腹崩壊地へは土留工等の山腹工事を実施するなど、23か所で治山施設を整備しました。

##### 【取組の成果】

山地災害に対する防災機能向上が図られた面積：132ha（23か所）

（内訳） 公共 115ha（9か所）

単県 17ha（14か所）



人家を守る治山工事

##### 【今後の取組】

市から提出された要望を受け、山地災害の危険性が高い箇所への治山工事を計画的に実施します。



山を守り水を蓄える治山ダム

## ⑩ 農業水利施設等の整備により洪水や地震被害のリスクから守られる地域の面積

### 【施策の趣旨】

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県土や県民の暮らしを守るため、農村地域の防災・減災対策を推進します。

### 【具体的な取組内容】

たん水防除事業上郷2期地区では、排水機場の更新整備に取りかかりました。

防災ダム事業では、万精池地区始め6地区のため池の耐震対策工事、1地区の実施設計を行い、4地区が事業完了しました。

老朽ため池等整備事業西中山地区では、ため池への進入道路を整備しました。

緊急老朽ため池整備事業では、ヒヤケ池地区始め2地区のため池の改修、1地区の実施設計を行いました。



万精池地区(ため池耐震対策)

### 【取組の成果】

洪水や地震被害のリスクから守られた地域の面積：265ha

(H28完了 防災ダム事業4地区)

(内訳) 万精池地区 15ha

寺部池地区 41ha

割目池地区 101ha

鞍ヶ池地区 108ha



保田ヶ池地区(ため池耐震対策)

### 【今後の取組】

実施中の地区では、引き続き市と土地改良区の関係者と調整しながら事業を推進し、耐震化等の整備を行っていきます。



## (2) 森林・農地の有する多面的機能の発揮

林

### ⑪ 地域住民等による森林の保全活動面積

#### 【施策の趣旨】

県土や自然環境の保全、水源の涵養、洪水の防止などの森林が有する多面的機能を十分に発揮させるため、地域住民等による森林の保全活動を推進します。

#### 【具体的な取組内容】

あいち森と緑づくり事業等を実施することにより、森林の持つ多面的機能の発揮に努めました。

特にあいち森と緑づくり事業実施地については、地元説明会を開催し、事業実施後の里山林の保全活動の大切さを説明し、地域住民の方々の理解の促進に努めました。

また、県有林においては、企業が社会貢献活動を目的として森林の保全活動を行う企業の森づくり等を受け入れました。

#### 【取組の成果】

地域住民等による森林の保全活動面積：94ha

(内訳) あいち森と緑づくり事業地での活動 18ha

県有林での活動 76ha

#### 【今後の取組】

引き続き、説明会などを通して、地域住民等による森林の保全活動を推進します。



地元説明会



地域住民による里山林の手入れ

**⑫ 多面的機能支払制度を活用した農地等の保全活動面積****【施策の趣旨】**

県土や自然環境の保全、水源の涵養、洪水の防止などの農地等が有する農林水産物の供給以外の多面的機能を発揮させるため、地域が共同で実施する農地の保全活動を支援します。

**【具体的な取組内容】**

農業者や地域住民で構成する組織が取り組む水路の草刈りや泥上げ、農道の路面維持などの地域資源の基礎的保全活動、農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える共同活動の支援を行いました。

**【取組の成果】**

農地等の保全活動面積：2,908ha  
(活動組織数90組織)

**農地法面の草刈り****【今後の取組】**

引き続き、市と調整を図りながら、活動組織が行う農地等の保全活動の支援を行っていきます。

**破損した水路の補修**

### (3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり

普

#### ⑬ 集落ぐるみで新たな鳥獣被害防止対策が取り込まれる組織数

##### 【施策の趣旨】

中山間地域では、野生鳥獣による農作物被害が多く、生産者の営農意欲が減退し、ひいては耕作を放棄してしまうなど、その影響は甚大です。そのため、鳥獣被害を防止するために有効な集落ぐるみの活動を支援します。

##### 【具体的な取組内容】

下山地域蘭集落で獣害マップの作成を支援し、集落における獣害の実情を把握の上、新たに集落でサル侵入防止柵を導入するように働きかけました。

この他、農業総合試験場が新しく開発したくりわな補助具「からまる棒」の実証を行いました。

##### 【取組の成果】

鳥獣被害防止対策取組組織数：1組織  
(下山地域蘭集落)

- ・新たにサル侵入防止柵を設置

##### 【今後の取組】

引き続き、市や農協と連携しながら、モデル集落を選定して、集落ぐるみでの新たな鳥獣被害防対策を推進します。

また、新たな鳥獣被害防止対策技術の現地実証を進めます。



獣害マップとサル侵入防止柵設置図



「からまる棒」で保定されたニホンジカ



## IV 重点的な取組の目標達成状況

### 柱1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

施策項目	重点的な取組	2020 目標数値	実績の推移				
			28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)
(1) 幅広い需要に応える優良品種・品目の導入	① 優良品種又は品目の導入件数	5年間で3件	1				
(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大	② 6次産業化に係る事業計画等の認定件数	5年間で5件	3				
(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現	③ 新規就農者数	5年間で125人	38				
	④ 農地や農業水利施設等の整備・更新面積	5年間で145ha	44				
(4) 資源を生かす林業の実現	⑤ 高性能林業機械による木材生産量	22,500 m <sup>3</sup>	16,700				
	⑥ 新規林業就業者数	5年間で60人	15				
	⑦ 林道の開設延長	5年間で3km	0.98				

### 柱2 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	⑧ 農林水産業に関する体験・交流会等への参加者数	毎年400人	1,039				
--------------------------	--------------------------	--------	-------	--	--	--	--

### 柱3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保	⑨ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積	5年間で635ha	132				
	⑩ 農業水利施設等の整備により洪水や地震被害のリスクから守られる地域の面積	5年間で187ha	265				
(2) 森林・農地の有する多面的機能の発揮	⑪ 地域住民等による森林の保全活動面積	70ha	94				
	⑫ 多面的機能支払制度を活用した農地等の保全活動面積	2,900 ha	2,908				
(3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり	⑬ 集落ぐるみで新たな鳥獣被害防止対策が取り組まれる組織数	5年間で5組織	1				

## 豊田市内のホテルで「ジビエ料理試食会」が開催されました

### 【取組の趣旨】

県の中山間地域では、イノシシやシカなどによる農作物被害は高止まり傾向にあり、それらの捕獲を進めています。捕獲した害獣の大半を埋立や焼却で処分しています。

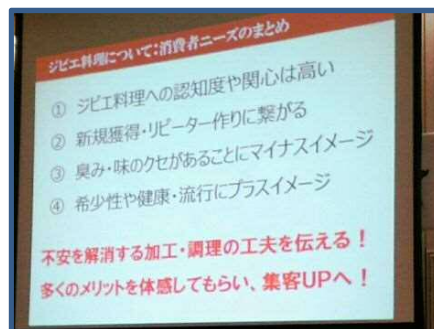
豊田市では、捕獲したイノシシやシカの肉をジビエとして販売し、その売上げを狩猟者等に還元することで害獣の捕獲を促し、農業者が農作物の生産に専念できるよう獣肉加工処理施設が稼働しています。

この施設は、(株)山恵が、平成27年度に県の補助金（6次産業化ネットワーク活動交付金）を活用して建設したもので、この施設からジビエを使った「しし肉まん」や「フランクフルト」などの加工食品が次々と商品化されており、一層の需要拡大を進める必要があります。

### 【取組内容】

ジビエは、一般的に「独特の臭みと硬さ」により敬遠されている中、美味しいジビエ料理を紹介することでイメージの改善を図るとともに、消費者にどのようにPRしていくかをテーマに、豊田市の主催で、飲食店関係者を対象にした「ジビエ料理試食会」が開催されました。

- ・開催期日：平成29年2月16日（木）
- ・場 所：名鉄トヨタホテル（豊田市）
- ・内 容
  - ① 獣肉・獣肉処理加工処理施設の説明
  - ② ジビエ料理の試食
  - ③ 講演「ジビエに対する消費者ニーズと情報発信のポイント」
  - ④ 商談会



講演内容

### 【今後の展開方向】

中山間地域活性化のモデル事例となるよう、イノシシやシカを地域資源とした6次産業化計画の達成を支援していきます。



ジビエ(石窯ロースト)

### 循環型林業技術実証 現地研修会を開催しました

#### 【取組の趣旨】

森林資源の循環利用を進めるためには、「植える→育てる→使う→植える」というサイクルを推進していかなければいけません。そのためには、木材を低コストに生産（主伐）して森林所有者への利益還元を図るとともに、獣害対策を施した再造林（再び植栽すること）を進めていく必要があります。

#### 【取組内容】

急峻な地形や路網整備が困難な現地でも集材できる架線系の集材機械（タワーヤーダ）、造材機械（プロセッサ）を組み合わせた木材生産技術を主体に、獣害対策技術、再造林技術の現地研修会を平成28年10月19日に開催しました。

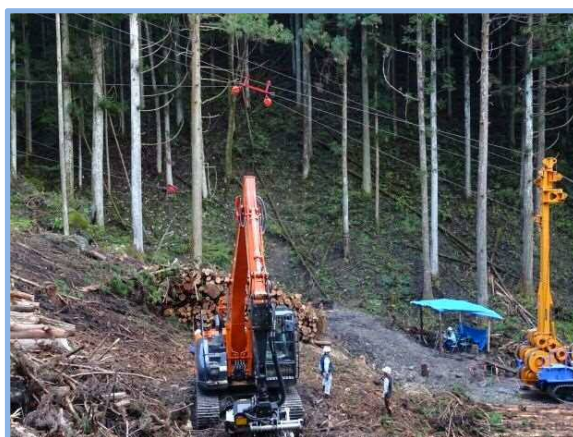
当日は、林業家、林業関係者約160人が集まり、活発な意見交換が行われました。

#### 【今後の展開方向】

主伐とその後の植栽やシカ等の被害対策を一体的に行う取り組みに対して支援するとともに、担い手対策として新規就業者の確保や伐採から搬出、植栽までを実践できる林業技術者の育成を進めます。



再造林技術（コンテナ苗植栽）実演



架線系集材（タワーヤーダ）実演

### JA あいち豊田桃部会が環境保全型農業推進コンクールで受賞しました

#### 【取組の趣旨】

県内で最もモモ栽培が盛んな豊田市猿投地域では、化学合成農薬の散布では抑えきれない害虫による慢性的な被害に苦しんでいたため、新たな防除法が求められていました。また、地元消費者からの安全・安心な農産物を求める声の高まりに応えるため、環境保全型農業の取組を始めました。

#### 【取組内容】

JAあいち豊田桃部会（平成6年設立、構成51戸）では、平成9年度から全国に先駆け、散布しない農薬「交信攪乱剤」や防蛾灯などの新しい技術を取り入れ、化学合成農薬の散布だけに頼らない取組を始めました。また、土づくりを目的とした草生栽培や環境に配慮した配合肥料の開発等にも早期から取り組んでいます。

さらに、愛知県GAP<sup>\*</sup>に取り組むとともに、県内の果樹出荷組織では初めて全員がエコファーマーに認定されました。この他にも地域企業と連携して、農産物や産地をPRする「桃・梨花見ウォーキング」を行う等、地域の住民や消費者との交流を行っています。

これらの取組が評価され、農林水産省生産局長賞の受賞となりました。

※GAPとは、生産者自らが設けた点検項目に沿って実施、記録、点検及び評価を行う改善活動のことです。本県では指標となる点検項目を示しています。

#### 【今後の展開方向】

消費者に信頼される安全・安心なモモの栽培技術を確立するため、①フェロモントラップ調査による適期防除、②薬剤抵抗性を考慮したローテーション防除等に取り組みます。

また、環境保全型農業の取組について多くの消費者や実需者に理解をしてもらうため、Webでの情報発信活動を強化していきます。



モモの害虫防除講習会



農林水産省生産局長賞の受賞



### 豊田市内の小学校で枝下用水の出前授業を実施しました

#### 【取組の趣旨】

豊田市南部地域に農業用水を供給する枝下用水の歴史や役割を枝下用水近隣の小学校児童に伝え、食料生産における農業用水の大切さ、施設管理の重要性のほか洪水防止機能など枝下用水が持つ多面的な機能や効果について啓発を図りました。

#### 【取組内容】

豊田市内の小学校では、現在、社会科で「枝下用水」を教材の一つとして授業を行っています。枝下用水について、学校では、私財を投じて用水築造に尽力した近江商人西澤真蔵の功績を中心に教えているため、県は用水が持っている農業用水供給機能の他、大雨時の洪水防止機能や人々にやすらぎを与える景観機能などの多面的な機能についてパワーポイントを活用して説明しました。

※ 童子山小学校の4年生  
(3クラス) で実施



童子山小学校出前授業

#### 【今後の展開方向】

枝下用水の歴史や役割を伝えることで、農地・農業用施設の持つ多面的機能について理解が促進されます。

出前授業は農業への理解促進に対し大変有意義と思われますので、小学生を対象に引き続き実施していきます。



枝下用水に関するクイズ回答

豊田市内の小学校で原木しいたけの菌打ち講習会を実施しました

【取組の趣旨】

地元で生産しているしいたけについて知ってもらうため、豊田市立九久平小学校において原木しいたけの菌打ち講習会を実施しました。

【取組内容】

しいたけ生産者の鈴木実氏を講師として、九久平小学校の4年生48人が、ドリルで穴を開けた原木に植菌棒を使ってしいたけの菌打ちを行いました。菌打ちが終った原木は、学校林内のホダ場※に運びました。

5年生で水やりなどの管理を行い、6年生で収穫します。

※しいたけの菌を打った原木を「ホダ木」といい、しいたけを発生させるためホダ木を置いておく場所を「ホダ場」といいます。

【今後の展開方向】

本講習会に加え、九久平小学校が所有している学校林を使って、森林と親しみ、森林の働きや木材の性質などを学ぶ森林学習を実施していきます。



しいたけの菌打ち方法についての説明



植菌棒を使っでの菌打ち



学校林内のホダ場

いいともあいち運動のシンボルマーク  
愛称は **あいまる** に決定しました！



## 食と緑の豊田加茂地域レポート

愛知県豊田加茂農林水産事務所農政課  
〒471-8566 豊田市元城町4-45 豊田加茂総合庁舎内  
電話:0565-32-7363(内線340)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/>